

# カキ生育情報

千葉県  
平成28年10月号

## 平成28年9月の気象

平成28年9月の半旬別の気象を表1に記した。平均気温は、第3半旬を除く5半旬で平年より高かった。月平均気温は24.0℃で、平年より1.1℃、前年より2.0℃高かった。

降水量は、第3～第5半旬は平年を上回り、第1、第2及び第6半旬は平年を下回った。月合計は239mmで、平年と同じ、前年の53%であった。

日照時間は、第1、第2及び第6半旬は平年を上回り、第3～第5半旬は平年を下回った。月合計は104時間で平年の72%、前年の81%であった。

台風16号が9月19日に鹿児島県に、20日に和歌山県に上陸したが、本県への直接の被害はなかった。

表1 平成28年9月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	25.9	24.8	24.9	15	26	29	37	30	25
2	25.8	24.4	23.2	11	48	278	30	28	4
3	22.8	23.6	22.7	63	24	0	1	25	39
4	23.3	22.8	20.7	82	45	102	7	23	16
5	21.9	21.4	20.4	67	49	34	7	21	24
6	24.4	20.4	20.3	2	47	8	21	20	21
平均/計	24.0	22.9	22.0	239	239	449	104	145	129

## 果実の発育

9月30日現在のカキの果径を表2に示した。横径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ7.84cm、7.36cm、「富有」が7.62cmであった。本年の横径は、「西村早生」では平年より2%大きく、前年より3%小さかった。「松本早生富有」では平年より2%大きく、前年より4%小さかった。「富有」では平年より8%、前年より6%大きかった。

縦径は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ5.55cm、5.42cm、「富有」が5.61cmであった。本年の縦径は、「西村早生」では平年より1%大きく、前年より2%小さかった。「松本早生富有」では平年より7%大きく、前年より2%小さかった。「富有」では平年より5%、前年より7%大きかった。

果形指数は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.41、1.36、「富有」が1.36であった。本年の果形指数は、「西村早生」及び「富有」では平年より大きくやや横長の傾向であり、「松本早生富有」では平年より小さく、やや縦長の傾向であった。

暖地園芸研究所では、「西村早生」が平年より5日遅い9月23日に収穫が始まった。病害では炭疽病、虫害では果樹カメムシ類による吸汁害の発生がみられる。

表2 果実の発育（9月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	7.59	7.62	7.88	5.43	5.51	5.56	1.40	1.39	1.42
	暖地園研	8.09	7.71	8.29	5.66	5.47	5.76	1.43	1.41	1.44
	平 均	7.84	7.66	8.09	5.55	5.49	5.66	1.41	1.40	1.43
松本早生 富有	市原市	7.12	7.07	7.48	5.36	4.89	5.47	1.33	1.45	1.37
	暖地園研	7.60	7.32	7.84	5.48	5.27	5.58	1.39	1.39	1.41
	平 均	7.36	7.19	7.66	5.42	5.08	5.53	1.36	1.42	1.39
富有	暖地園研	7.62	7.06	7.17	5.61	5.34	5.26	1.36	1.32	1.36

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2015年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2015年の平均

## 10月の作業

### 収 穫

中生、晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認する。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調製作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

### 追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育と収量を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。「松本早生富有」、「次郎」、「富有」などの中晩生品種では、10月中下旬までに速効性肥料で施用する。窒素の成分量で、10a当たり2～3kgが適当である。

### 病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降(休眠期)でよい。これらの防除は、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

### 《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>